

秋田県商業貿易課 国際交流員のご紹介



国際交流員
郭 揚 さん

吉林省長春市から参りました、郭揚(かくよう)です。

この4月から、秋田県商業貿易課で国際交流員として活動しています。

日常業務は、中国東北三省経済交流事業に関する連絡・調整や翻訳・通訳及び中国経済情報の収集要約などです。また、月に一回、秋田県貿易促進協会で研修を受けています。大学院卒業まで、未知の分野である貿易に携わり、新しいものを勉強するチャンスになっています。

これまで、企業訪問を通じ、地道な努力と新しい発想で企業経営と地域産業を支え

る方の話を伺った一方、貿易における商慣習の違いや、ベテランバイヤーの不足などといった課題も認識させられました。交流員として、これらの課題に関する対策と、そこに潜む多面的な要因を皆さんとともに考えていきたいと思っております。

仕事を通じ、秋田の歴史風土や特産、人情に触れ合えることがありがたいです。これからも、好奇心と尊重の念を抱きながら、前進したいと思っております。様々な分野はもとより、文化的な産業である伝統工芸分野の企業への訪問を楽しみにしております。

今後予定している事業

事業名	実施予定日	対象国・地域
■シンガポールフェア	11月	シンガポール
■秋田市受託事業(ベトナム)	11月中旬	ベトナム・ホーチミン
■ベトナム経済交流ミッション	11月中旬	ベトナム・ハノイ、ヴィンフック省
■県内商社輸出応援事業(ロシアバイヤー招聘)	11月下旬	ロシア
■北米(アメリカ)食品バイヤー招聘商談会	1月~2月	アメリカ・カリフォルニア
■秋田市受託事業(インドネシア)	1月~2月	インドネシア

あきた海外展開支援ネットワークポータルサイトをご活用ください

【あきた海外展開支援ネットワークとは】

海外展開を実施している、あるいは今後予定している企業を、県市町村、貿易支援機関、金融機関、商工団体などの連携によりサポートしています。

あきた海外展開支援ネットワークポータルサイトではネットワーク構成機関の最新の支援情報や、県内企業の先行事例などを紹介しています。どうぞご覧ください。

URL: <http://www.akita-kaigaitenkai.jp/>



令和元年7月29日より事務所が移転しました。

あなたの貿易ビジネスをサポート!

ATPA 一般社団法人 秋田県貿易促進協会

〒010-0951

秋田県秋田市山王二丁目1番40号 田口ビル1階

電話 018(896)7366 FAX 018(896)7367 Email info@a-trade.or.jp ホームページ <http://a-trade.or.jp/>

一般社団法人
秋田県貿易促進協会
Akita Trade Promotion Association

Newsletter

第50号
2019年10月発行

大分県議会視察団との意見交換会



9月3日、大分県議会農林水産委員会井上明夫委員長他6名の委員と県職員4名が来県され、当協会齊藤会長以下、当協会事務局員と意見交換を行いました。
当協会から平成28~30年度の農産物等の海外販売促進活動について説明しました。大分県も農産物等の海外販促に力を入れており、

事業展開の手法について質問がありました。当県では特に国と県・市町村と密接に連携し事業展開をしている旨説明しました。
また、ビジネスマッチング支援に関すること、日本酒および木材資源の輸出等についても意見交換しました。

貿易エキスパート活動報告

隣県企業への秋田港ポートセールス

当協会に勤務して以来、県内企業を中心に訪問し、協会や県の事業を説明して、貿易に関心をもっていただくように努めてきている。また、県作成の「秋田港の奨励金制度」の案内書を携えて、秋田港の利用を勧めるために、企業訪問を行ってきました。

8月下旬、岩手県と青森県の企業4社を訪問し、秋田港のポートセールスを行いました。

◎A社(岩手県)は、岩手県産品の販路拡大のために第三セクターとして設立され、国内外での見本市参加、商談会を精力的に実施しています。

- ・これまで国内販売が中心であったが、7年前に海外事業部門を設置。中国、台湾、香港、北米、シンガポール等で海外展開。
- ・輸出の大半は、リスクヘッジのため国内で決済し、残りは商社経由で海外に販売している。
- ・東北の各港は、釜山港での積み替

えがあるためリードタイムが長く利便性が悪いので、毎日出荷可能な横浜港を利用。時々、秋田港も利用。
・海外展開において、今後、北東北3県の連携を期待。

◎B社(岩手県)は、秋田港にコンテナ航路が開設された1995年当時から秋田港を利用しています。

- ・木製家具や住宅建材の製造を行うほか、製紙原料となる広葉樹や針葉樹の切削チップの製造にも取り組む。
- ・フローリング用の岩手県産クリ製材を秋田港へ輸送し、中国へ輸出。
- ・ロシア ウスリースク周辺から木材を輸入。ウラジオストク港→釜山港→秋田港ルートは、コンテナ海上運賃が高いので、木材専用船を利用。能代港に陸揚げ。課題は帰り荷。

◎C社(青森県)は、八戸商工会議

所を中心に設立された貿易商社です。
・主要な輸出商品はりんご、長芋、冷凍水産物。輸入面では建築用木材、玉葱、ワイン等々を中心に取引。
・売れるものを徐々に増やして事業を継続、拡大してきている。
・地元の八戸港や東京港を利用。秋田港は使っていない。

◎D社(青森県)は、2012年7月設立の貿易商社です。
・輸出商品はりんご、りんご加工品、清酒、焼酎など。昨年、りんご加工品としてアップルパイを香港に輸出している。
・インバウンド観光客数では青森県が東北で一番多い。訪日外国人が関心をもった商品が輸出商品になっている。
・貿易事業は根気よく一生懸命頑張るしかない。秋田港は必要があれば利用したい。

北米(カナダ)の食品市場セミナー

- 日時 令和元年8月9日
- 主催 ジェトロ秋田、秋田県、あきた海外展開支援ネットワーク
秋田県貿易促進協会
- 会場 秋田地方総合庁舎5階



海外市場に関心がある県内食品企業を対象として、CPTPP (TPP11) 参加国であるカナダを例に現地市場や規制について学ぶためセミナーと、参加企業間の取組みについての情報交換会を開催しました。

カナダとの貿易はCPTPPの締結により今後段階的に関税が減額または撤廃されていきます。国全体として

の人口はそれほど多くないですが、局地的に人口が集中しておりビジネスをしやすい環境だと言えます。国民一人当たりのGDPも日本より高く、資源も豊かなカナダは魅力的な市場だということが講師のお話により伝わりました。

安全規制が厳しいイメージのあるカナダおよび北米市場ですが、段階

を踏んでいけば不可能なものではありません。今後、当協会として北米からのバイヤー招聘事業なども企画しています。詳細が確定したら会員の皆様に発信しますので、関心がある方はぜひご参加ください。

ジェトロ秋田との共催セミナー

デザイン製品の海外展開セミナー

- 日時 令和元年9月3日
- 主催 ジェトロ秋田、秋田県、あきた海外展開支援ネットワーク
秋田県貿易促進協会
- 会場 秋田県庁第二庁舎3階



海外に関心のある伝産品や工芸品などデザイン産品を対象としたセミナーを開催しました。セミナーでは、ブランディングの専門家から海外展開に向けたブランド構築の考え方に

についての講演があり、県内企業の事例紹介としては樺細工の海外展開に取り組む富岡商店 代表取締役 富岡浩樹氏に経験を語っていただきました。

セミナー終了後は出席した県内のデザイン産品関連企業の皆様で意見

交換しながら交流を深めました。秋田県内には多くの伝産品とデザイン産品があります。これから海外にもっと積極的にPRするため、それぞれの企業や支援機関が連携した取組みを推進していきます。

北米への日本食品輸出に関する調査

北米への食品輸出の情報収集のため、定期的に輸出取引を行っている大阪および神戸の食品輸出業者にヒアリングをおこないました。以下、ヒアリング内容を要約したものです。

日本食の地産度は世界的にも上がっていますが、一般の米国民が日本食に接する機会はまだまだ少ないと感じます。一方、エリート層では日本食はヘルシーというイメージが強く単価が高くても受入れられています。結果として日本レストランは増加しており、現在では全米で2万数千件あると言われていて、ただし、多く

のレストランは日本人以外がオーナーのお店のお店のようです。スーパーマーケットについても、ローカルなショップでの日本食料品の扱いは、一部の食品を除きまだまだ非常に少ないです。ただし日本食自体は秘められた市場性もあり、バイヤーの関心が高まっていることも事実です。

米国に食品を出荷する際には米国食品強化法における工場の登録や食品安全計画書の作成が必要になります。難しいように感じますが、中間に入る輸出業者や現地の輸入業者もサポートしてくれるはずで、ぜひ秋田県内のメーカーさんにも興味を持っていただきたいと思ひます。

外国語講座

中国語講座(入門コース)開講



先生が各自のレベルに合わせ効果的に教えてくれるので安心です。本場の中国語を聴き、自ら発音して会話練習し、基礎的語法を学びながら、徐々にステップアップしていきます。

国連公用語の一つである中国語は、世界言語と言え、アジア主要国で使える便利な共通語です。中国語をマスターすれば、世界での行動半径はより広がります。一般に、外国語は、「知る・使う・繰り返す」ことで習得できます。ネイティブの中国語を、繰り返しインプット・アウトプット練習できる当講座は、中国語の基礎マスターにピッタリです。

そして、この講座を通じて、中国語だけでなく、中国文化への理解も一層深めていただけるものと信じます。

中国語に興味のある方は、ぜひ当協会までお問い合わせください。また、詳細は協会ホームページでもご覧いただけます。



当協会の語学講座は上半期の「短期ロシア語講座」が好評のうちに終了し、下半期は「中国語講座」(主催:協会、後援:秋田商工会議所)が10月16日より毎週水曜5時からの1時間、全18回の予定で始まります。中国語は音節が1600以上あり、日本人には発音が難しいと言われます。その点、当講座は、ネイティブの

新規会員のご紹介

令和元年度 新規会員 (入会順、9月末現在)

《企業名》	《市町村》
・株式会社ドジャース商事	秋田市
・田口ビル株式会社	秋田市
・トヨタカローラ秋田株式会社	秋田市
・株式会社ホクシンエレクトロニクス	秋田市
・株式会社醍醐	秋田市
・センコン物流株式会社	仙台市
・大館能代空港ターミナルビル株式会社	北秋田市
・株式会社清水組	男鹿市
・羽後電設工業株式会社	秋田市
・新日本海フェリー株式会社 秋田支店	秋田市
・アスカフーズ株式会社	横手市

計11社

会員名:アスカフーズ株式会社(代表者:遠藤 優子)
(所在地:横手市平鹿町中吉田字上藤根143)

【会社紹介】
過去にロシア・ハバロフスクに冷凍米飯を輸出し、大型スーパーで販売しましたが、継続的な取引に繋がりませんでした。2020年12月を目標にFSSC 22000(最終消費者に安全な食品を提供するための国際規格)取得を目指しており、この認証取得により海外の食品関連企業から支持されることが予想されます。今後、綿密なマーケティング調査を行ったうえで、FSSC 22000認証をアピールしながら、貿易に取り組んでいかれるようです。

